

ことわざカードで おさらいしよう

この本で学んだ50個のことわざを
カードにしたよ。
コピーしたら、一枚ずつ切り取って、
くり返し見てみよう。

カードの見方

顔かくして
尻かくさず

悪いところの一部をかくして、全部をかくしたつもりでいること。

使いやすい 困った



ことわざと意味が書いてあるよ。

どんなときに使ったらよいか、マークで示しているよ。

日常生活での使いやすさを示しているよ。★の数が多くほどよく使われるよ。

あたま
顔かくして
尻かくさず

悪いところの一部をかくして、全部をかくしたつもりでいること。

使いやすい 困った



あん
案ずるより
産むが易し

物事は心配するよりも、意外と簡単にできるということ。

使いやすい ホットした



いし
石の上にも三年

苦しくてもがんばっていれば、必ず成功するということ。

使いやすい がんばる



いしばし
石橋を
たたいて渡る

とても用心深く物事を行う。

使いやすい 心配



いぬ ある
犬も歩けば
棒に当たる

①動いたら意外な幸運にあう。
②でしゃばると思わぬ悪い目にあう。

使いやすい ラッキー



うおころ みずころ
魚心あれば水心

どちらかに好きという気持ちがあれば、相手もおのずから好きになってくれるというたとえ。

使いやすい 感謝



うま みみ ねんぶつ
馬の耳に念仏

いくら注意しても効き目が
ないこと。

つか
使いやすい

あきれた



えび たい つ
海老で鯛を釣る

わずかな元手で大きな利益を
手に入れること。

つか
使いやすい

ラッキー



えん した ちから も
縁の下の力持ち

み
見えないところで、だれかを
助けるためにがんばっている
人のたとえ。

つか
使いやすい

かんしゃ
感謝



おに かなぼう
鬼に金棒

もともと強い人がさらに強くな
ること。

つか
使いやすい

すごい



おに め なみだ
鬼の目にも涙

こころ つめ ひと
心の冷たい人でも、ときには涙
を流すことがあるということ。

つか
使いやすい

おどろ
驚いた



かえる こ かえる
蛙の子は蛙

①子どもは親に似るとのこと。
②ふつうの親からはふつうの子
どもしか生まれれないということ。

つか
使いやすい

こま
困った



か ちゅう くり ひろ
火中の栗を拾う

ひと
人のためにあえて危険なこ
とをする。

つか
使いやすい

きけん
危険



かべ みみ
壁に耳あり
しょうじ め
障子に目あり

ひみつ
秘密はもれやすいということ。

つか
使いやすい

こま
困った



か ほう ね ま
果報は寝て待て

しあわ
幸せは、あせらず待ってい
れば、そのうちやってくる。

つか
使いやすい

ほげ
励ます



かわいい子には たび旅をさせよ

自分の子が大切なら、甘やかさずに苦勞をさせた方がよい。

使いやすい

励ます



くち わざわい 口は禍のもと

軽い気持ちで言ったことが、思いがけない災難を招くこと。

使いやすい

へこんだ



けんえん なか 犬猿の仲

とても仲が悪いことのとえ。

使いやすい

こまった



こういん や 光陰矢のごとし

時間が経つのがとても速いことのとえ。

使いやすい

すごい



こうかいさき た 後悔先に立たず

終わってから悔やんでも、どうにもならない。

使いやすい

へこんだ



こうほうふで えら 弘法筆を選ばず

名人はどんな道具を使っても、よい仕事をする。

使いやすい

すごい



ころ 転ばぬ先の杖

失敗しないように、前もってしっかり準備しておくようにという教え。

使いやすい

ホッとした



さる き 猿も木から お落ちる

どんな名人でも、たまには失敗することもあるというたとえ。

使いやすい

こまった



さわ 触らぬ神に たたりなし

面どうなことに関わらないようにする。

使いやすい

こまった



さん にん よ
三人寄れば
もんじゅ ちえ
文殊の知恵

ふつうの人でも三人集まって
考えれば、よい考えが出てく
るものだということ。

つか
使いやすい

ほけ
励ます



しっぱい
失敗は
せいこう
成功のもと

失敗しても反省してやり続け
れば、いつか成功につながる
ということ。

つか
使いやすい

ほけ
励ます



しゅ まじ
朱に交われれば
あか
赤くなる

つき合う友だちのえいきょう
を受けて、よくも悪くもなる。

つか
使いやすい

こま
困った



し
知らぬが仏

知らないことで、仏様のように
におだやかな気持ちでいられ
るというたとえ。

つか
使いやすい

あきれた



す もの
好きこそ物の
じょうず
上手なれ

好きなことは努力するので、す
ぐにうまくなる。

つか
使いやすい

ほけ
励ます



すずめひやく
雀百まで
おど わす
踊り忘れず

幼いときに身につけたくせや習
慣は、年を取っても忘れない。

つか
使いやすい

すごい



す かみ
捨てる神あれば
ひろ かみ
拾う神あり

悪いことがあっても、よいこ
ともあるので、くよくよしない。

つか
使いやすい

ほけ
励ます



た とり
立つ鳥
あと
跡をにごさず

立ち去るときは、きれいに後始
末するようにという教え。

つか
使いやすい

ほめる



たな もち
棚からぼた餅

何もしないで思いがけない幸
運をつかむこと。

つか
使いやすい

ラッキー



ちり
塵も積もれば
やま
山となる

ちい
小さなものでも、たくさん積み
かさ
重ねれば、大きなものになる。

つか
使いやすい

すごい



とうだいもとくら
灯台下暗し

み ぢか
身近なことは、かえってわか
りにくい。

つか
使いやすい

こま
困った



とき かね
時は金なり

じ かん かね
時間はお金のように大切だから、
無だにしておいてはいけないとい
う教え。

つか
使いやすい

がんばる



どんぐりの
せいくら
背比べ

おな
どれも同じくらいで、大した
ちがいはないというたとえ。

つか
使いやすい

さんねん
残念



と 飛んで火に入る
なつ 夏
むし 虫

じ ぶん
自分からわざわざ危険なところ
に入って行くということ。

つか
使いやすい

さんねん
残念



な 泣きつら 面にはち
はち 蜂

わる
悪いことが立て続けに起こる
こと。

つか
使いやすい

かな
悲しい



ななころ や お
七転び八起き

なん どしつぱい
何度失敗しても、くじけない
でがんばること。

つか
使いやすい

ほげ
励ます



に と お もの
二兎を追う者は
いっ と 一兎をも得ず

ふた
二つのことを同時にしようとする
と、結局はどちらも成功しな
いということ。

つか
使いやすい

さんねん
残念



ねこ
猫にかつおぶし

す
好きなものをそばに置いておくと、
まちがいが起こりやすいとい
うこと。

つか
使いやすい

こま
困った



のう たか
能ある鷹は
つめ
爪をかくす

すぐ さいのう も ひと
優れた才能を持つ人は、むや
みにそれを自まんしない。

つか
使いやすい

ほめる



もとす
のど元過ぎれば
あつ わす
熱さを忘れる

くる
苦しかったことも、ありがた
かったことも、時が経てば簡
単に忘れてしまう。

つか
使いやすい

あきれた



うてお
のれんに腕押し

すこ てさた
少しも手応えがないこと。

つか
使いやすい

あきれた



はな だんご
花より団子

め こころ たの じっさい
目や心で楽しむより、実際に
役に立つものの方がよい。

つか
使いやすい

あきれた



ふた しんじゆ
豚に眞珠

よいものだとわからない人
は役に立たないということ。

つか
使いやすい

あきれた



ほとけ かお さんど
仏の顔も三度

どんなにおだやかな人でも、
くり返しいやなことをされたら
おこ怒るということ。

つか
使いやすい

おこ
怒った



るい とも よ
類は友を呼ぶ

に ものどうし しぜん あつ
似た者同士は自然と集まって
くる。

つか
使いやすい

うれしい



わら かど
笑う門には
ふく き
福来たる

わら た いえ しあわ
笑いが絶えない家には、幸せ
がやってくる。

つか
使いやすい

うれしい



ことわざをおぼえて、毎日の生
活の中で使ってみよう!

